

1. わたしは、あなたが世から取り出してわたしに下さった人々に、あなたの御名を明らかにしました。彼らはあなたのものであって、あなたは彼らをわたしに下さいました。彼らはあなたのみことばを守りました。(17:6)
 - a. イエスはこの地上にいらした時、そのご生涯を通して 100%正確に神の本当のご性質を世に示された。これは非常に重要な事実である。というのは、もしもイエスが肉体の形をとって神の名を示してくださらなかったら、旧約聖書に書かれている言葉からだけでは神のことを誤解しやすいからである。
 - b. イエスは神のことばである。イエスなしでは神を知ることはできない。神の話、教え、ルールやおきてを知っていても、本当の意味で神のご性質を示されるイエスというお方を知らなくては、私たちが神について学んだことは汚染されてしまい、現にそれはイエス時代の宗教コミュニティの中で起きたことである。そして同じことが私たちの時代にも起こり得る。
 - c. イエスは、弟子たちは神のことばを守ったと宣言されているが、これは神に完全に従う生涯を送ったということではなく、彼らがイエスを通して与えられた神のメッセージを信じたということである。彼らは神のことばであるイエスに信仰をおいたのである。

2. いま彼らは、あなたがわたしに下さったものはみな、あなたから出ていることを知っています。それは、あなたがわたしに下さったみことばを、わたしが彼らに与えたからです。彼らはそれを受け入れ、わたしがあなたから出て来たことを確かに知り、また、あなたがわたしを遣わされたことを信じました。(17:7-8)
 - a. しばらく一緒にイエスの初代の弟子たちになったつもりで、論争的となったイエスの言動を振り返ってみよう。イエスが神から出られ、神によって遣わされたお方であると信じる事がどんなに大変だったか想像できるでしょう。
 - b. 神はこうあるべき、という当時の慣習的な考えに対してイエスが反発されたケースがいくつか見られる。これは神を最も知っているはずの人々によって神のことが間違っって伝えられたためである。これは間違っった解釈によって、みことばが間違っって使われ表現されることになった典型的な例である。
 - c. イエスは地上にいらっしやっった間、神についての誤っった解釈、適用、表現を正しただけでなく、言葉をもって神のみこころに従う生き方を示唆された。イエスがそのような生き方を示すことによって、弟子たちはイエスが本当にどういっうお方なのかを知ることになった。

3. わたしは彼らのためにお願いします。世のためにはではなく、あなたがわたしに下さった者たちのためにです。なぜなら彼らはあなたのものだからです。わたしのものはみなあなたのもの、あなたのものはわたしのものです。そして、わたしは彼らによって栄光を受けました。わたしはもう世にいません。彼らは世にありますが、わたしはあなたのみもとにまいます。聖なる父。あなたがわたしに下さっているあなたの御名の中に、彼らを保ってください。それはわたしたちと同様に、彼らが一つとなるためです。(17:9-11)
 - a. イエスはこの世を去るにあたって特別に弟子たちのために祈り、当時の宗教指導者たちによって間違っって伝えられていた神ではなく、イエスが明らかにした真の神にとどまり続けるように願っった。
 - b. ここはイエスが神のことを「聖なる父」と呼ばれる珍しいケースである。おそらくイエスは天におられる父が完全に聖別されたお方であることを示すためにこのように呼ばれたのだろう。イエスご自身も完全に聖いお方であるにもかかわらず、私たちがみもとに引き寄せてくださり、それだけでなく私たちが神と一体になるよう結び付けてくださる。